

# いこもの風

瀬戸内町立伊子茂小・中学校 児童生徒数							総計	令和2年 6月17日現在
小1	小2	小4	小6	中1	中2	中3		
2	3	2	3	2	6	6	24名	

【6月号】 令和2年6月17日発行 伊子茂小・中学校 TEL 76-0018

## 新型コロナウイルスによって考えさせられたこと

校長 櫻井 登

全校朝会で、今年4月に3日間で何百万回もシェアされ、世界中に広がった「ありがとう、コロナウイルス」の動画を視聴して、作者であるリヤ・ソコルさん（ポーランドの歌手）について話をしました。

《動画の内容です。》

「ありがとう、コロナウイルス」 [https://youtu.be/sgm9E\\_cmvWA](https://youtu.be/sgm9E_cmvWA)  
(前文省略)

ありがとう。私たちが今どんな豊かさの中に生きているのかに気づかせてくれて。ありあまる品物や自由と健康をほしいままにし、私たちはそれを当たり前のように思っていた。

ありがとう。私たちを立ち止まらせてくれて。おかげで私たちは忙しさの中にどんなに自分を失っていたのかを見ることができた。

その中で私たちは一番基本的なことをないがしろにしてきた。

ありがとう。おかげで私たちは、あんなに大事なことのように思っていたあらゆる問題を忘れて見ることができた。そして、何が本当に大事なことを見ることができた。

ありがとう。交通を止めてくれて。地球は環境がどんなに汚染されているかを見て欲しいと長いこと私たちに訴えてきた。だけど私たちは耳を傾けてこなかった。

ありがとう。このすべての恐怖に。恐怖は何年も世界的な病だったのに、私たちの多くはそれに向き合おうとしなかった。

今、私たちは恐怖に向き合わざるを得なくなり、愛と周りの人々の支えとで恐怖を抱きしめることを学ばされている。私たちの人生をこんな風に見直させてくれてありがとう。

ありがとう。私たちが今、ようやく理解することができる。私たちは皆つながっている、ということが何を本当に意味するのかを。(途中省略)

感謝の心を忘れないで、目覚めていきましょう。

同じものは二度と還ってきません。

世界は今、変化しています。

《視聴後に作者のメッセージを朗読しました。》

《(前文省略)……こんなにたくさんの感謝と感涙のメッセージを受け取ることになるとは、想像すらしませんでした。希望をくれてありがとう、愛と信頼を広げてくれてありがとう、と溢れる感謝を受けています。……(途中省略)これはひとつの作品で、たくさん

の見方の中のひとつを示しています。しかし、この見方が痛みと不公平感を引き起こすかもしれないことは理解できます。向こうに苦しんでいる人がいるのに、なんてことを言うの、と。その通りですよ

ね？

でも、落ち込むことがその人たちの助けになりますか？ 私たちがこの危機にどう対処するか見ている子どもたちの助けになりますか？……(途中省略)

私もこのウィルスで複数の友人を失いました。今、世界で起きていることは残酷なんてもものではありません。私は人生でたくさんの残酷なことを体験してきました。そんな私のいのちを救ってくれたのは感謝でした。……(途中省略)

「ありがとう」は最も深遠で力強い祈りです。苦しみや死に感謝しているのではありません。今生きていることに感謝をしています。……(後文省略)

新型コロナウイルスによって世界は混乱しています。しかし、リヤ・ソコルさんがおっしゃるように、私たちが、今まで置き去りにしてきたことを考える機会になったと思います。できることを、少しずつでも変えていけたらと思います。

新型コロナウイルスによって世界は混乱しています。しかし、リヤ・ソコルさんがおっしゃるように、私たちが、今まで置き去りにしてきたことを考える機会になったと思います。できることを、少しずつでも変えていけたらと思います。

新型コロナウイルスによって世界は混乱しています。しかし、リヤ・ソコルさんがおっしゃるように、私たちが、今まで置き去りにしてきたことを考える機会になったと思います。できることを、少しずつでも変えていけたらと思います。

新型コロナウイルスによって世界は混乱しています。しかし、リヤ・ソコルさんがおっしゃるように、私たちが、今まで置き去りにしてきたことを考える機会になったと思います。できることを、少しずつでも変えていけたらと思います。

新型コロナウイルスによって世界は混乱しています。しかし、リヤ・ソコルさんがおっしゃるように、私たちが、今まで置き去りにしてきたことを考える機会になったと思います。できることを、少しずつでも変えていけたらと思います。

新型コロナウイルスによって世界は混乱しています。しかし、リヤ・ソコルさんがおっしゃるように、私たちが、今まで置き去りにしてきたことを考える機会になったと思います。できることを、少しずつでも変えていけたらと思います。

新型コロナウイルスによって世界は混乱しています。しかし、リヤ・ソコルさんがおっしゃるように、私たちが、今まで置き去りにしてきたことを考える機会になったと思います。できることを、少しずつでも変えていけたらと思います。

新型コロナウイルスによって世界は混乱しています。しかし、リヤ・ソコルさんがおっしゃるように、私たちが、今まで置き去りにしてきたことを考える機会になったと思います。できることを、少しずつでも変えていけたらと思います。

## 《児童生徒の感想》

○ コロナウイルスは、やっかいなものだと思っていました。でも、この動画を見て、感謝の気持ちが出てきました。確かにコロナウイルスが発生したからこそ、世界中で医療現場の見直しの意見が出てきたり、世界中が今、変わらなければいけないことが分かってきました。このいろいろなことに気づかせてくれたコロナウイルスと人間が平和に共存できる日を心から願います。

○ 前に一度、母に見せてもらったことがありました。そのときはあまり深く考えなかったけれど、改めて見て“悪”としか思われなかったコロナウイルスも、視点を変えると、良い部分もあるんだなあと思いました。治療法が不明で、たくさんの方が亡くなってしまったけれど、今の私たちの状況を考える良いきっかけだと思います。これから世界が良い方向へ変わっていったらいいなあと思いました。

## 家庭教育学級における取組の紹介

6月13日(土)11:00より本校正門前にある伊子茂マモルくんの清掃とカラーリングを児童・生徒及び家庭教育学級生(保護者・教職員)で行いました。伊子茂校区のシンボルでもあり、子どもたちや地域の安全を見守り続ける「マモル君」のカラーリングは実に16年(詳細な記録は不明)ぶりだそうです。



当日は、交通安全協会スクールガードの○田さんをはじめ、俵交番(○山警部補)・瀬戸内警察署交通課の皆様そして伊子茂区長の○○○○子様にも御協力をいただきました。家庭教育学級R2地域貢献プロジェクト(マモル君カラーリング作戦)は、交通安全の啓発だけでなく、土砂災害の見守りにも役立てたと思います。是非、子どもたちによって新しくカラーリングされた「マモル君」を見に来ていただき、地域の安全と交通安全の啓発を広めていただきたいと思います。

小学部6年生の男子3名は、1週間前から昼休みの時間を使ってマモル君を雑巾で掃除したり、紙やすりを使ってはがれたペンキを削ったりと活躍していました。6年生男子3名の次の目標は、「マモル君」に感謝状を贈ることだそうです。

また、マモル君カラーリング作戦のためにボランティアで「足場」を組んでくださった(株)伊東組様にも感謝です。

## 【7月の行事予定】

- 1日(水) 学級PTA・学校保健委員会
  - 2日(木) 家庭教育学級長研修会(奄美図)
  - 4日(土) バドミントン部(お別れ試合)
  - 10日(金) クラブ活動(小)
  - 11日(土) 土曜授業(伊子茂湾横断校内遠泳大会)
  - 16日(木) 三島中学校集合学習会(高校説明会)諸鈍中
  - 20日(金) 終業式
  - 21日(火) 夏休み(～8/31)
  - 23日(木) 海の日
  - 24日(金) スポーツの日
  - 26日(日) 青少年ふるさと美化活動
  - 31日(金) PTA保護者会19:00～
- ※出校日7/31(金)、8/21(金)通常登校(午前のみ)